

～土砂災害啓発センター活動だより～ チリ及び中南米地域の政府機関関係者や研究者の方々が訪問

11月8日、「世界津波の日(11月5日)」に合わせて、独立行政法人国際協力機構(JICA)の中南米防災人材育成拠点化支援プロジェクト(KIZUNAプロジェクト)の人材育成の一環として来日された、チリ・エグアドル・ペルー・ニカラグア・エルサルバドルの政府機関関係者や研究者計16名が、広川町の「稲むらの火の館」と合わせて、「和歌山県土砂災害啓発センター」を訪問されました。

1. 和歌山の砂防について

当県砂防課より、和歌山県の地勢や、昭和28年と平成23年の歴史的な土砂災害、和歌山県が取り組むハード・ソフト対策、土砂災害啓発センターの役割等を説明しました。

また、平成23年紀伊半島大水害の那智川流域の災害の概要をまとめた動画を鑑賞しました。



和歌山の砂防について説明を受ける様子

2. 那智川の土石流災害に対する国土交通省の取り組みについて

国土交通省近畿地方整備局紀伊山地砂防事務所の吉村事務所長をお招きし、講演をいただきました。那智川流域の土砂災害対策施設の整備方針や、砂防堰堤等の工事の進捗状況、新技術の活用や災害発生メカニズム解明に関する研究、人材育成等の啓発活動、他機関との連携等について説明いただきました。

また、質疑応答においても、災害後の土地利用や堰堤の設計等、活発な意見交換が行われました。



吉村事務所長の講演の様子

3. 施設や工事状況を視察

土砂災害啓発センター内のパネルや啓発用模型等、また、センターに隣接する砂防堰堤の工事状況を視察しました。



質疑応答の様子

館内展示物の見学の様子

土砂災害啓発センターでは、団体での土砂災害に関する研修を受け入れています。研修をご希望の方は、希望日の一か月前までに、電話もしくはメールにて事前にご連絡ください。なお、研修室の使用状況等によりご希望に沿えない場合がありますので、あらかじめご承知ください。

【問い合わせ先】

和歌山県土砂災害啓発センター

〒649-5302

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6

TEL: 0735-29-7531

メール: e0806041@pref.wakayama.lg.jp